



スキーのジャンプのK点って何のことなの

ドイツ語で極限点の意味

スキーのジャンプ競技を見たことがありますか。選手は、急なしゃ面をスピードを出してすべりおり、空中高くジャンプするのですから、すごいですね。

スキーのジャンプ競技には、ノーマルヒル、ラージヒルおよびフライングの3種類があります。

K点は、ドイツ語で、Kritischer punkt (クリティシエル プンクト)、つまり、「極限点」の意味です。

長野オリンピックでは、白馬ジャンプ競技場で、ノーマルヒル個人(K点=90メートル)、ラージヒル個人(K点=120メートル)、団体(ラージヒルK点=120メートル、4人で競技)、の3種目の競技が行われました。

飛距離点は、K点を基準に、加点したり、減点したりするために、選手たちは、K点より遠くに飛ぼうとします。

ジャンプ競技の得点方法

ジャンプ競技は、飛んだ飛距離の飛距離点と、フォームなどを採点する飛型点を、合計してポイントを出します。ジャンプは2回行います。

それぞれのジャンプ台には、K点が定められていて、そのK点まで飛んだら、飛距離点が60点となります。K点を基準に、50センチメートルごとに、2.0ポイント(ノーマルヒル)、1.8ポイント(ラージヒル)ずつ加算したり、減算されます。

飛型点は、空中の選手のフォームを、20点満点、0.5点単位で採点します。

(監修・青木 国夫)

